

I. アジアの拠点都市として活力溢れる福岡の構築

第58回 福岡市民の祭り 博多どんたく港まつり 5/3-4

第58回福岡市民の祭り「博多どんたく港まつり」(主催:福岡市民の祭り振興会・会長＝藤永会頭)を「祝うたァ！！令和元年 博多松囃子840年」をサブタイトルに改元直後となる5月3日・4日に開催し、市内はどんたく一色に包まれた。

パレード会場であるどんたく広場(明治通り)では、「博多松囃子」が華やかに幕開けを飾り、マーチングや花自動車、個性あふれる多彩な“どんたく隊”が観客を楽しませた。今年はどんたく広場・演舞台に774団体、約36,000人が参加。新しい時代を迎え日本全体がお祝いムードに包まれる中、GW10連休中の開催ということもあり、例年を上回る240万人の人流に福博の街は大いに盛り上がった。

4日のパレード終了後、呉服町などに設置した各拠点と市役所に設置した「お祭り本舞台」では、市民や観光客も「総踊り」の輪に加わって大いに盛り上がり、博多伝統の「祝いめでた」と「博多手一本」でフィナーレを迎えた。



G20 福岡 財務大臣・中央銀行総裁会議 関連イベント 6/8-9

当所は、6月8日～9日のG20福岡財務大臣・中央銀行総裁会議の開催に際し、福岡市、九州経済連合会などと推進協力委員会を設立し、機運醸成や福岡・九州の魅力発信などを行った。

特に、3月に理財部会で記念講演会を開催。開催前日の6月7日には承天寺にて茶道体験など海外メディア向けのおもてなしイベントを主催。また、G20当日の交通量抑制についても周知に協力した。



II. 地域を支え、成長し続ける商工業者の支援 今すぐはじめる「消費税軽減税率対策」！！セミナー

当所は、4月29日、5月15日、6月14日の3回に渡り、今すぐはじめる「消費税軽減税率対策」！！セミナーを開催。定員を超える事業者が参加した。博多税務署 特別記帳指導官 山内健一氏を講師にお迎えし、軽減税率適用の具体的な判断事例をはじめ、転嫁対策による事業全体での売上・利益の確保、POSレジやクラウド会計導入に活用できる各種補助金の紹介や、キャッシュレス決済導入による国のポイント還元事業の対応などについて説明を聞いた。なお、7月以降も同セミナーを毎月開催する。



会社合同説明会

5/28

当所は、5月28日に福岡国際会議場で本年度2回目の「会社合同説明会」を開催。2020年3月卒業予定の学生を中心に368名が来場した。

本説明会は、地元中小企業の人材確保と地域における就業促進を図ることを目的として毎年開催している。今回は4月に続いて2回目の開催で、福岡市内を中心に県内外から119社が出展。

企業にとって人材確保は昨年以上に厳しい様相を呈していることから、出展各社はブース訪問者数を増やすため、椅子の配置やパネルの使い方に工夫を凝らしたり、学生への声掛けを積極的に行ったりするなど、これまで以上にブースの質を高め熱心な説明が行われた。

出展者アンケートでは「全般的に学生の動きが早くなっている」「今後も厳しさが増すと思われる」等の声が聞かれ、早期化・長期化する採用活動に苦慮している現状がうかがわれた。



III. 信頼され、進化し続ける福岡商工会議所の実現

福岡県商工会議所連合会 第132回通常会員総会 5/27

福岡県商工会議所連合会(会長＝藤永会頭)は5月27日、福岡市で第132回通常会員総会を開催。昨年度の事業報告・収支決算、今年度の事業計画・収支予算などについて審議し、原案通り承認した。藤永会長は挨拶で「県内商工会議所の連携を強化し、中小企業の諸課題解決に向けた様々な支援を力強く推進していきたい」と述べた。総会後の特別講話では、小川県知事から「今後の県政」をテーマに、豪雨災害からの復旧・復興や地方創生の推進などについて講演を聞いた。



九州商工会議所連合会 第97回通常会員総会 6/5

九州商工会議所連合会(会長＝藤永会頭)は6月7日、鹿児島県指宿市で第97回通常会員総会を開催。今年度の事業計画や予算、各地会議所の意見をとりまとめた要望などについて審議し、原案通り承認した。事業計画では今年9月開催の熊本地震復興支援事業「九州・火の国元気まつり」実施計画について決議。また要望では外国人材の受入環境整備やAI・IoT等の導入による生産性向上への支援などを国に求めることを決定した。

また総会前日には、日本商工会議所の三村会頭との懇談会や会員交流会を開催。活発な意見交換や交流を行なった。



会議等

卸売商業部会主催 講演会 5/16

卸売商業部会(部会長＝忍田勉・㈱カンサイ 代表取締役会長)は5月16日、NP〇法人福岡城市民の会 理事長 石井幸孝氏を講師に迎え、『官兵衛の福岡城物語』と『新幹線物流について』をテーマに講演会を開催。85名が参加した。

石井氏は、黒田官兵衛が福岡城築城に至った物語や現代の福岡城が果たす役割など、福岡を知る上で官兵衛の足跡を学ぶことの重要性を語った。また、深刻化する人口減少時代を生き抜くための新幹線による物流改革の有効性について説明。参加者からは、「歴史を学ぶ意義を考える貴重な機会となった」や「新幹線物流の可能性について大変興味深かった」といった声があった。



福商ビジネス倶楽部定時総会 5/21

福商ビジネス倶楽部は5月21日、グラナダスイートにて定時総会を開催し、60名が参加した。

定時総会では平成30年度の事業報告ならびに、令和元年度の事業計画について審議し、全て原案通り承認された。総会後は出席者による交流懇親会を開催。懇親会には当所副会頭も参加し、倶楽部会員に激励の言葉を送った。参加者からは、「積極的に活動に関わっていきたい、福商ビジネス倶楽部を盛り上げていきたい」とのメッセージがあった。



税制委員会 税制講演会 6/11

当所税制委員会(委員長＝岩崎成敏・岩崎建設㈱ 代表取締役社長)は6月11日、日本商工会議所 産業政策第一部長の山内清行氏を講師に迎え、「税制改正を巡る最近の動向と今後の検討課題および消費税軽減税率制度について」をテーマに税制講演会を開催。税制委員会委員のほか、議員企業の経営層や経理担当者など25名が出席した。

山内部長は、「令和2年度税制改正に向けて、日本商工会議所では、①中小企業の成長を後押しする税制の実現、②事業承継税制の使い勝手の改善、③インボイスの導入反対、の3点に注力したい。今後も各地会議所と連携して、中央省庁に事業者の声を届け、実現に向けて働き掛けていく」と説明した。

日本商工会議所は今後、各地会議所を通じて中小企業の意見や実態を集約し、来年度税制改正に向けて国への要望を行う。

